

2026年4月25日 昼下がりの演奏会 #6

於：CampGear&Cafe BASE

13:30～プレトーク / 14:00～演奏会

- Performer -

Saxophone 三木 多聞

Percussion 萩原 大雅

Pianoforte 奥 柚葉

- Program -

ジムノペディ 第1番

(エリック・サティ 作曲)

ゴリウオーグのケーキウオーグ

(クロード・ドビュッシー 作曲)

月の光

(クロード・ドビュッシー 作曲)

ジムノペディ 第1番  
(エリック・サティ 作曲)

おそらく誰もが「どこかで聞いたことのある曲」であろうこの曲、クラシックというよりはヒーリングミュージックといった方がいいのかもしれない。『ジムノペディ』は第3番までであるが、この第1番が圧倒的に有名である。『ジムノペディ』という曲名は古代ギリシアにおける裸の青年たちの賑やかな祭典「ギムノパイディア」からきているが、この祭典とは似ても似つかない雰囲気曲である。この第1番には、「ゆっくりと苦しみをもって」(Lent et douloureux) という指示がある。

エリック・サティ (1866-1925) はフランスの作曲家で、「家具のようにそこにあっても日常生活を妨げない音楽、意識的に聴かれることのない音楽」=「家具の音楽」というものを発想した。クライマックスに向けて展開があり、進行してゆくような音楽ではなく、どの瞬間を切り取っても美しく、決してその場を邪魔することのない、BGMに適したような考えである。この『ジムノペディ』もそのような性格の音楽といえよう。

サティの作品には『犬のためのぶよぶよとした前奏曲』や『梨の形をした3つの小品』など奇妙なタイトルの曲も多いことも有名である。

また、1分程度の曲を840回繰り返す『ヴェクサシオン』(日本語で「嫌がらせ」「癩の種」という曲は、かつて『トリビアの泉』でも取り上げられた。

……このように書くと、ふざけた作曲家のような印象を受けるかもしれないが(実際そういう側面もあったのかもしれないが)、既存の西洋音楽の伝統に対する問題意識を常に持ち続け、革新的な技法を盛り込んでいった。それらはたとえば同時代のフランスの作曲家であるドビュッシーやラヴェルにも影響を与えている。

ゴリウオーグのケーキウォーク  
(クロード・ドビュッシー 作曲)

『子供の領分』というピアノ組曲の終曲にあたる第6曲。『子供の領分』というタイトルは、子供のための曲というよりは、大人が子供の気分に浸るようなイメージである。

「ゴリウオーグ」というのは19世紀末に絵本に登場し、その後欧米やオーストラリアで多大なる知名度を誇るようになった黒人の男の子を模したキャラクターである。「ケーキウォーク」というのは19世紀にアメリカの黒人のあいだに起こった軽快なリズムが特徴の2拍子のダンスで、ジャズの起源の一つともいう。ダンスコンテストでは賞品としてケーキが与えられたことから「ケーキウォーク」と名付けられたという。

月の光  
(クロード・ドビュッシー 作曲)

ドビュッシー作品の中でも最も有名といっても過言ではないこの曲は、『ベルガマスク組曲』という全4曲からなるピアノ組曲の第3曲として作曲された。この「ベルガマスク」という言葉はイタリアのベルガモという地名に基づく単語であるが、曲名としてはポール・ヴェルレーヌの詩の一節からとられたという。

『月の光』は全編を通してほとんどが小さな音量(ピアノッシモ)で演奏される、静謐な世界ながらも、霧がかかったような響きから、輝かしい響きまで、色彩あふれる楽曲である。

\* \* \*

クロード・ドビュッシー (1862-1918) は、モンマルトルのカフェ・コンセール『黒猫』(歌や踊りのショーを見ながら飲食できる店)でサ

ティとも交流を持っている。印象派の作曲家としてもよく知られているが、本人は印象派と呼ばれることを嫌っていたらしい。

### 《サクソフォンについて》

サクソフォンは「サククス」という略称でよく知られた楽器でありながら、ジャズやポップス、あるいは吹奏楽で用いられる楽器という印象が強く、クラシックのイメージはあまり持たれていない。今回の曲は元からサクソフォンのために書かれた曲ではないが、実はドビュッシーにもサクソフォンのために書いた作品がある。

サクソフォンは比較的新しい楽器で、1840年代初頭にベルギーの楽器製作者アドルフ・サククス(1814-1894)によって発明された。サククスは金管楽器と木管楽器の橋渡しを目的に、木管楽器であるサクソフォンだけでなく、金管楽器であるサクソルンも発明している。こういうことを知っていると、「サククス」ではなくちゃんと「サクソフォン」と呼ぼうという気になるのは自分だけだろうか。

サクソフォンは非常に大きな音が出せる楽器であり、またジャズやポップスなどでは、喉を鳴らしながら吹くグロウル奏法もよく使われるため、バリバリとしたパンチの強い、派手な音色のイメージを持っている方も多いかもしれないが、他の伝統的な楽器に勝るとも劣らない表現力を持ち、楽器が新しい分、楽器の鳴りやすさ、音量・音色のコントロールの幅は木管楽器の中でも非常に大きい。クラシックの分野でも、19世紀後半からすでに積極的に使われている。ビゼーの『アルルの女』やプッチーニの『トゥーランドット』にも使われているのだが、特に有名なのは、1928年に作曲されたモーリス・ラヴェルの『ボレロ』だろう。

(文・仮屋賢一)

### 【演奏者】

#### サクソフォン：

三木 多間 (みき・たもん)

兵庫県西宮市出身。アマチュア奏者の父親の影響を受け、幼少期よりクラシックサクソフォンの音楽に触れ、中学入学と同時に吹奏楽部にてサクソフォンを始める。尼崎市立尼崎双星高等学校普通科音楽類型を経て、大阪音楽大学音楽学部音楽学科管楽器専攻に進学、現在4年次在学中。

これまでにサクソフォンを寺田麗美、梶原真季、井上麻子の各氏に師事。室内楽を大石将紀氏に師事。大石将紀、ファブリス・モレティ、サンドロ・コンパニオン各氏のマスタークラスを受講。第27回万里の長城杯国際音楽コンクール第2位。

定期的なりサイトルにて自分の音楽を発信し続けている。演奏活動のみならずFMラジオやSNSメディア等にも多数出演。

滋賀県立大津高等学校吹奏楽部、尼崎市立大庄中学校吹奏楽部指導員。川西ジュニアウインドバンド講師、音楽監督。椿音楽教室サクソフォン講師。

#### パーカッション：

萩原 大雅 (はぎはら・たいが)

宮城県仙台市生まれの兵庫県西宮市育ち。12歳より打楽器を始める。尼崎市立尼崎双星高等学校普通科音楽類型を経て、大阪音楽大学音楽学部音楽学科打楽器専攻に進学、現在4年次在学中。

これまでに打楽器を小野聡子、池邊雅美、石川直、小谷康夫の各氏に師事。

2025年より兵庫県神戸市発のオルタナティブロックバンド「The Peace」のドラムス、コーラスの担当や、Miyabi / 雅という名義でライブハウスやバーでのDJ活動やDJイベント主催、同人作家、イラストレーターなど、活動範

囲はクラシックや音楽に留まらず、サブカルチャーを中心に広く発信している。

#### ピアノ：

奥 柚葉（おく・ゆずは）

大阪府八尾市出身。3歳よりエレクトーンを始め、10歳から12歳までドラムを経験。中学入学と同時に吹奏楽部に入部し、打楽器を始める。高校在学時には、大阪府高校選抜吹奏楽団のオーディションに合格し、第105回全国高等学校野球選手権記念大会の開会式・閉会式にて演奏を担当。

現在、大阪音楽大学音楽学部音楽学科打楽器専攻3年次在学中。

#### プレトーク・司会：

仮屋 賢一（かりや・けんいち）

作曲家で俳人。

2025年、大阪・関西万博のステージのために『Uni-Tunes』を作曲、また本番ではこの曲を含め、万博にて指揮を務める。

2017年、イタリア・アルバ音楽祭に作曲家として参加し、フルートオーケストラのための『蝶 Le Farfalle』を新作初演。また、武満徹作曲のピアノ曲『ロマンス』をフルートオーケストラ用に編曲し、こちらも初演。2024年3月には、私立高等学校の吹奏楽部定期演奏会において、オリジナルミュージカル曲の作詞作曲を担当。

また、今様音楽企画のメンバーとして、「美山音楽祭」の準備・企画・運営に尽力。音楽祭期間中は、新曲の初演のみならず、司会やワークショップ講師やトークショー登壇なども行う。

作曲は独学。今様音楽企画、関西現代音楽交流協会、関西室内楽協会に所属。また、俳句雑誌「壺」代表として俳句も嗜む。

### 昼下がりの演奏会 於：CampGear&Cafe BASE

《今後の予定》

#7

2026年5月9日（土）

フルートアンサンブル

以降も毎月開催  
最新情報はWebサイトをチェック！

13:30～プレトーク / 14:00～演奏会  
入場無料・0歳から入場可・出入自由

～「昼下がりの演奏会」とは～

ここCampGear&Cafe BASEを、「誰でも気軽に音楽と触れ合える」場にしたい、そんな思いで2025年11月に開始したシリーズです。本格的でありながら、ふらっと訪れて、気軽に楽しめる演奏会です。

今回のイベントについて、以下のQRコードのアンケートからぜひご意見・ご感想等お聞かせください！ いただいた貴重なご意見は、今後より良いイベントを創り上げていくため、参考にさせていただきます。



主催：

合同会社リコラボ

代表 仮屋賢一（作曲家・俳人）

ウェブサイト <https://ricollab-create.com/>

お問い合わせ：075-275-7570

[info@ricollab-create.com](mailto:info@ricollab-create.com)

右のQRコードからLINE友だち登録して、イベント最新情報をGET！ ここからお問い合わせもしていただけます。

